



3つの国家資格を取得し、 故郷の治療院で治療家の 道を歩むのが夢です。

池上 成美さん
鍼灸科I部

中学時代、陸上競技のケガを機に鍼治療の効果を実感。治療院院長の勧めで呉竹に入学し、鍼灸の道へ。今年度から柔道整復科II部を受講し、3つの国家資格取得を目指す。

鍼治療でスポーツ疾患を克服できた経験から、中学生のときに治療家の道へ進もうと決意しました。その治療院の院長が勧めてくださった呉竹の授業はとても実践的で、先生方は私たちが分かるまでとことん指導してくれます。理解や暗記が難しい解剖学では人体模型を駆使したり、臨床現場での実体験を交えたりと教え方が上手で、専門的な知識・技術も着実に身につけているのが分かります。目標は、今年から柔道整復科II部も受講し、4年で3つの国家資格に合格すること。そして、私自身の治療体験と幅広い治療技術を強みに、将来は故郷の治療院で患者さんに安心感を与えられる治療家になりたいと思います。



01

在校生インタビュー

INTERVIEW

02

在校生インタビュー

INTERVIEW

柔道整復の 教育者に なるのを夢に、 外傷治療と スポーツ指導を 学んでいます。

私の夢は、整形外科で外傷治療とスポーツ指導の実務経験を積み、将来は柔道整復の教育者になることです。そのためには柔道整復とトレーニングの両面からのアプローチが必要と考え、「スポーツトレーナー養成講座」も受講しました。ケガを未然に防ぐエクササイズを修得できたのは大きな収穫です。私が呉竹を選んだのも、こうした専門的な講座や、実践的な選択科目が充実していたから。高齢者や障がい者へのホスピタリティの心を知るサービス介助や、手話の授業では発見の連続で、患者さん一人ひとりへ対応する大切さを実感しました。現在は目標だった特待生にも選ばれ、より真剣な気持ちで自分の夢と向き合っています。



湊 龍志さん
柔道整復科I部

外傷治療とともにトレーニング指導もできる柔道整復の教育者を目指し、スポーツトレーナー養成講座を1期生として受講。その意欲的な学びが実を結び、特待生に選考される。

